

みずほCustomer Desk Report 2016/07/15 号(As of 2016/07/14)

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値		104.11	
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD	
TKY 9:00AM	104.07	1.1095	115.48	0.9842	1.3123	0.7594	
SYD-NY High	105.93	1.1165	118.03	0.9852	1.3480	0.7653	
SYD-NY Low	103.97	1.1088	115.37	0.9765	1.3105	0.7591	
NY 5:00 PM	105.35	1.1117	117.21	0.9809	1.3344	0.7632	
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			14.48/14.98	△25RR	1.150	Yen Call Over	
NY DOW	18,506.41	134.29	債券市場	日本2年債	-0.3450	0.6bp	
NASDAQ	5,034.06	28.33		日本10年債	-0.2570	2.3bp	
S&P	2,163.75	11.32		米国2年債	0.6732	0.8bp	
日経平均	16,385.89	154.46		米国5年債	1.0958	3.6bp	
TOPIX	1,311.16	10.90		米国10年債	1.5356	6.1bp	
シカゴ日経先物	16,615	190.00		独10年債	-0.0400	2.2bp	
ロンドンFT	6,654.47	▲15.93		英10年債	0.7940	4.9bp	
DAX	10,068.30	137.59		豪10年債	1.9570	▲1.9bp	
ハンセン指数	21,561.06	238.69	為替市況	USD/CNH	6.6924	0.0025	
上海総合	3,054.02	▲ 6.67		ドルインデックス	96.08	▲0.14	
USDJPY 3M Vol	12.97	0.20%	商品市況	CRB指数	190.096	1.51	
USDJPY 6M Vol	12.44	0.20%		NY金	1,332.200	▲11.40	
EURJPY 3M Vol	13.45	0.03%		WTI	45.680	0.93	
EURJPY 6M Vol	13.21	0.09%		Dubai Spot	42.49	▲1.05	

東京	東京時間104.07レベルでオープンしたドル円は、短期的なロングポジションの利食いや本邦輸出勢の売りに103.97まで下押す場面も見られたが、前日同様に104円割れの水準では押し目買いがしっかりと入り反発。その後、豪6月雇用統計の良好な結果に豪ドル円等クロス円の買いが優勢となると、日経平均株価の底堅い値動きを眺めながらドル円はじり高の展開となり104円台半ばまで上昇。「本田悦郎氏の4月訪米時に、永久国債の発行をバーナキ氏と議論」との報道に日銀の追加緩和期待が一段と強まると、105.00円、105.50円付近のストップロスを巻き込みながらドル円は105.75まで急伸し、結局105.70レベルで海外時間に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は上昇した。105.70レベルでオープン。日本時間夕方の方のバーナキ前FRB議長の永久国債発行に言及したとの報道や株が世界的に買い戻されたことを受け約3週間來の高値105.93を付けた。正午は英中銀の政策金利据え置きを受けドルが対ポンドで下落。連れて対円でも105.25まで緩む場面が見られた。しかし、その後はポンド円の買いや金利政策発表後に売られた英国株にも買戻しが入ったため再びリスク選好地合いの円売りとなり105円台後半まで水準を戻し、105.77レベルでニューヨークへ渡った。ポンドは急伸。1.3270レベルでオープン。英中銀の金融政策発表を控え午前1.32台前半での様子見となった。金利の据え置きや量的緩和の現状維持が発表されると利下げを織り込んでいた市場参加者の買戻しが進み1.3480まで急伸した。1.3200レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドントルジャー 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	NY時間のドル円は105.77レベルでオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を下回り(4週移動平均も259Kまで低下)、同時に発表された6月PPIも予想を上回ったことから、ドル買いが強まり105.90まで上昇。しかし11時のロンドン・フィクスに掛けてドル売りが強まり、105.26まで反落。その後はロックハート・アトランタ連銀総裁(投票権無/中立派)が「年内の利上げ1回か、2回の可能性もある」と発言するが、ドル円の反応は限定的。結局、明日の米小売売上高およびCPI結果発表を控え、狭いレンジでの推移が続き、105.35レベルでクローズした。一方、ユーロドルは英中銀理事会結果発表を控え狭いレンジでの推移が続いたが、英中銀が金融政策据え置きを発表するとユーロは連れ高となり1.1165まで上昇し、1.1153レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数、PPI結果を受けたドル買いに上値を押さえられ1.1098まで下落。午後は新規材料に掛ける中、1.1120付近での推移が続き、1.1117レベルでクローズした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 下山・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月14日	8:50	日 対内・対外証券投資	7/8週分	-
	10:30	豪 雇用者数/失業率	6月	7.9K/5.8%
	20:00	BOE政策金利/資産購入目標	7月	0.50%/£3.750B
	21:30	米 新規失業保険申請件数	7/9週分	254K
	21:30	米 新築住宅価格指数(前月比/前年比)	5月	0.7%/2.7%
7月15日	21:30	米 PPI/コアPPI(前月比)	6月	0.5%/0.3%
	0:15	米 ロックハート・アトランタ連銀総裁、講演	-	-
	2:15	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁、講演	-	-

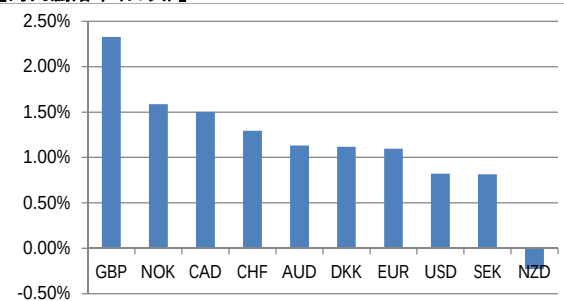
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前日
7月15日	9:20	米 カプラン・ダラス連銀総裁、講演	-	-
	11:00	中 鉱工業生産/小売売上高/固定資産投資(前年比)	6月	5.9%/9.9%/9.4%
	11:00	中 GDP(前年比)	第2Q	6.6%
	18:00	欧 HICP(前月比/前年比)	6月	0.2%/0.1%
	18:00	欧 コアHICP(前年比)	6月	0.9%
	21:00	英 カーニー・BOE総裁、講演	-	-
	21:30	米 小売売上高/小売売上高・除自動車(前月比)	6月	0.1%/0.4%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	6月	0.3%/1.1%
	21:30	米 CPIコア(前月比/前年比)	6月	0.2%/2.2%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	7月	5.00
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	6月	0.3%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報値	7月	93.5
	7月16日	2:00	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁、講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.50-105.80	1.1050-1.1200	115.50-118.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は105円台でもみ合う展開。アジア時間に本邦のヘリコプターマネーに関する報道などがあり104円台後半から急速に円売りが進んだが、結局106円手前で反落した。また、英中銀の予想外の政策金利据え置きによりGBPが急伸するなど市場の動揺を誘ったが、リスクセンチメントの悪化には繋がらなかった。本日は中国の4-6月期GDPや米6月小売売上高の発表などが予定されており、これらの結果に左右されることになるだろう。ただ、ここ数日のドル円の急伸により市場参加者の円ロングポジションはほぼ解消されていると思われ、やや様子見ムードの強い展開となると考えている。